
恐怖の大王の真相

あの日人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

恐怖の大王の真相

【Nコード】

N3741V

【作者名】

あの日人

【あらすじ】

以前、某所に投稿した小咄です。

せっかく登録したんだから1つくらい、と思っただけ投稿しました。

「恐怖の大王」と呼ばれた現象の本質とは何か。

恐怖の大王の話しよう。

恐怖の大王が何かってのは、知ってる前提で話を進めるけど、知らない人で、尚且つ知りたい人はググってほしい。

「ノストラダムスの予言」関連がヒットしたら、それが正解。

結論から言つと、恐怖の大王に起因する脅威は回避されている。だから、もう心配いらぬ。

さて、どこから話したものか・・・。

まずは、恐怖の大王とは何だったのか解説しよう。

驚くなかれ、あれは「予言」なんかじゃ無かった。

簡単に言ってしまうば、あれは「呪」の一種。

時間をかけて基礎を築き、世紀末へ向け急速に力を増し、神話級の災害を起こすだけの力を持ってしまった「呪」。

全ての要素がタイミング悪く重なり、

呪の力を高めちゃったんだろっね。

じゃあどうして、呪が強力になってしまったのか、折角だから説明しておこう。

まずは予備知識として、

心霊現象の発生機序について知ってほしい。

死んだ後の霊魂によって起こされる？
もちろん違う。

脳の一部が損傷しただけで正常でいらなくなるのに、
脳の全部を失っておいて、意識がある訳がない。

心霊現象って言うのは、「縁」の余韻。

何かを原因として水面が波打ち、水面の葉が揺れる。
原因が消えた後も波紋は残り、葉は揺れ続けるように、
人と人との縁は、人が消えた後も記憶として残り、
その余韻は、まるで意思があるかのように振舞う。

生前の縁が多ければ多いほど、
余韻は長く、強く、広く、深く影響する。
そこに原因となった人の意思は無い。

それが心霊現象。

じゃあ呪はっていうと、その逆。

原理が同じでも、その因果の方向が逆なのが呪。

何かを原因に水面の葉が揺れる逆。

葉が揺れることで、水面が波打ち、何かが起こる。

深く刻まれた縁が消えずに残るように、

想いの力で、存在しない縁が発生することがある。

それが呪。

呪の儀式つてのは、何も無い所に縁を作る儀式。

呪文や魔方阵は、所謂「演出」。

チベット密教の秘術「タルパ」は儀式として分かりやすい例。

触らぬ神に祟り無しって言うでしょ？

そりゃあ、知らなきゃ祟られようが無い。

で、話は戻るけど、恐怖の大王の呪つてのが凄かった。

昔の予言者が残した予言つてのが地盤を固め、
四行詩つて形態が神秘性を高め、
世紀末つてタイミングが終末感を煽った。

何よりも、メディアの発達によつて、
大勢が知ることになったつてのがデカい。

多くの人間が深層心理で予言を畏れ、
七の月に向けて備えた。

もう、それだけの想いが1点に集中すれば、
恐怖の大王は来るべくして来るしかない状態。

不穏な空気を察知した人たちも、当然いた。
でも、ここまで強力になつてしまつた呪に対して
個人で出来ることなんて、まず無い。

メディアを使つて、「予言の7の月は、本当は9月」とか、
「ノストラダムスの予言を信じているのは日本だけ」とか、
縁を弱めるために、想いを分散する手段が講じられたけど、
逆に知名度が上がつて、呪を強めることになつてしまった。

成す術も無く、関係者が途方に暮れている中、
世界を救つたのは東京に住む一人の主婦だった。

ここで、もう一つ予備知識を。

縁を強める儀式があるように、縁を弱める儀式も存在する。

縁を弱めるための媒体つてのもいくつかあるけど、身近な所では「水」が結構有力だったりする。

水に対する「静」や「浄化」のイメージは世界共通で、いろんな物を溶かす物性も、その要因なのかもしれない。

で、東京在住の主婦が何をやったか。

霊験あらたかな血筋の主婦が、伝説の神器を持ってその魂に秘めた霊力で、恐怖の大王と対決・・・なんて事は無い。

フィクションのように、天使と悪魔の壮絶な戦いなんて起こらない。危機を救うのは、チョットしたアイディアだったりする。

覚えている人もいると思う。

90年代前半から急激に流行った「猫よけ」アイテム。

水を入れたペットボトルだ。

猫よけペットボトルのルーツは、60年以上昔のハワイだと言う。元々は家の四隅に1本ずつ置くだけだとか。

恐らく4本のボトルだけでも、それなりの浄化作用があるのだろう。

それが日本では、件の主婦のアイデアを切欠に、各家庭でありつたけのボトルが設置された。

庭をボトルで埋め尽くしていた家庭もあった。

はたして全国で、何本のボトルが設置されたのか計り知れない。

おかげで、恐怖の大王の縁は薄まり、世紀末の脅威は去った。

が、しかし

今度は2012年マヤの予言。

世界規模の縁は、どうやら恐怖の大王より強いらしい。

頻発する天変地異は、その兆しなんだろうか。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3741v/>

恐怖の大王の真相

2011年10月9日11時31分発行